

地震発生

まずは身の安全、次に火の元確認！

揺れを感じたら、あわてて外に飛び出さず、身の安全を守ることが第一。座布団などで頭を守り、丈夫なテーブルなどの下にかくれましょう！

揺れがおさまったら、使用中のガス器具などの火を消し、避難経路を確保しましょう！家具類の固定や、ガラス部分にガラス飛散防止フィルムを張っておくなど、日頃から備えておきましょう！

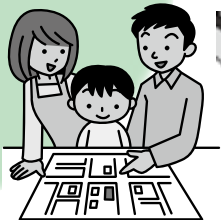
緊急地震速報でまずは安全確保！

緊急地震速報は、強い揺れがくることを、皆さんにすばやく知らせる情報です。

緊急地震速報を見聞きした場合は、まわりの人に地震が来る事を知らせながら、あわてずに身の安全を確保しましょう。

避難勧告が出たら、速やかに避難場所へ！

市から避難勧告や避難指示が出たときは、「非常持出品」を持ち、速やかに避難しましょう。地震の時には、塀の倒壊やガラス飛散、看板などの落下に注意しましょう！また、日頃から避難場所や道順などを確認しておくことが大切です。避難場所などについては、市総務課までお問い合わせください。



家族の連絡方法、安否確認の方法は？

災害時には、電話やインターネットなどがつながりにくくなります。日頃から、家族の安否確認の方法、集合場所などを話し合っておきましょう。

安否確認には、災害用伝言ダイヤル「^い171^{ない}」

メッセージを残す

- ① 171をダイヤル
- ② 「1」（録音）を選ぶ
- ③ 自分（被災地）の電話番号をダイヤル
- ④ メッセージの録音

メッセージを聞く

- ① 171をダイヤル
- ② 「2」（再生）を選ぶ
- ③ 被災地の方の電話番号をダイヤル
- ④ メッセージの再生

※ガイダンスが流れますので、ガイダンスに従ってください。

利用方法

平成7年1月17日、午前5時46分早朝、それは突然起こりました。激しい揺れが襲い家屋は倒壊、二次災害による火災が発生し、死者数6432人を数えた阪神・淡路大震災。このような災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。私たちの身近なところでも起こりうるのです。そのとき、何ができるのか、何をすればいいのか、どうしていいか分からなくなってしまうのではないのでしょうか。大切な命・財産を災害から守るために、日頃からの心がけ、備えをしておきましょう。

いつ起こるか分からない災害
日頃からの心がけが大切です！

ライフラインの停止や避難に備えて！

大災害が発生すると、水、電気、ガス、通信などのライフラインが停止する可能性があります。復旧までの間、自宅で生活できるように、水や食料、生活用品を備蓄しておきましょう！

また、自宅が被災した場合、避難所での生活も余儀なくされることもあります。そういう場合に備えて、災害後の生活をささえる「非常備蓄品」と、非難のときに持って逃げる「非常持出品」に分けて用意しておきましょう！「非常持出品」は前もってリュックなどに詰めて準備しましょう！

非常備蓄品

水は、1人1日3リットルが必要で、非常食も最低3日分用意しておきましょう。

特別なものを用意するのではなく、普段の生活で必要なもの・使用しているものを。

非常持出品

水や非常食、ラジオなどのほか、すぐに必要になるもの、なければ困るものを考えて用意しましょう。

誰が何をもち出すか担当を決めていくと、すばやく避難できます。

